

「基金運用を通じた ESG 投資」を実施

～独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行する「ソーシャルボンド」を購入しました～

直方市(直方市長 大塚 進弘)は、2030 年までの SDGs 達成の為に「基金運用を通じた ESG 投資」の一環として、2024 年 9 月 17 日(火)に独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行するソーシャルボンドを購入いたしました。

【URL】https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/_1236/_13302.html



実施内容

基金の運用を通じて SDGs の推進に貢献するため、2024 年 9 月 17 日(火)、独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行するソーシャルボンド(※1)を購入しました。本市が同社のソーシャルボンドを購入するのは、今回が初めてとなります。

本債券の発行による調達資金は高速道路建設等のプロジェクトのリファイナンスに充当され、我が国の社会的課題の解決に貢献します。また、SDGs の内、「3.すべての人に健康と福祉を」、「8.働きがいも経済成長も」、「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「13.気候変動に具体的な対策を」の達成にも貢献します。

(※1) 社会的課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券のことであり、ESG(※2)投資の対象となります。

(※2) ESG とは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG 投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと。資金の用途によりグリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド等に分かります。

取組に至った背景

本市では地方自治法の趣旨を踏まえ、基金の一部を活用し、安全性の確保を第一に効率性も考慮した債券運用に取り組んでいます。また、本市は、2022 年 5 月に内閣府より「SDGs 未来都市」に選定されるとともに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)と同じく 2030 年を目標期限とする第 6 次直方市総合計画において『未来へつなぐ～ひと・まち・自然～』を都市将来像として掲げ、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

その取組の一環として、環境改善や社会貢献に寄与する事業を資金使途とする ESG 債（グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド）への投資を行うことで持続可能な社会の形成に寄与し、社会的使命・役割を果たすとともに、購入の際には投資表明を行い、対外的に公表します。ESG 債の発行によって調達された資金は、事業への充当を通じて SDGs の達成に貢献するものとなっています。

独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構について

【法人概要】

法人名:独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構

所在地:〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番2号 横浜三井ビルディング 5 階

代表者:理事長 高松 勝

設立:2005 年(平成 17 年)10 月 1 日

URL:<https://www.jehdra.go.jp/>

事業内容:高速道路事業

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

直方市 会計課 会計係 担当:武内

TEL:0949-25-2102

e-mail:n-kaikei@city.nogata.lg.jp